

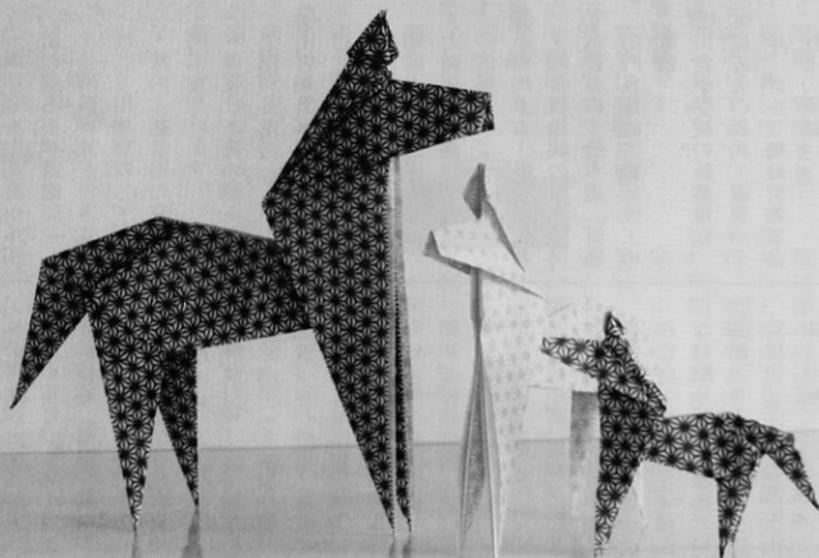


編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240

あけまして
おめでとうございます



今年は午年。

これから未来を

背おつていく子供達が

天翔る。ペガサスの

ように

大空に羽ばたける

年でありますように。

金木町民憲章

- 一、ふるさとの自然を大切にし、美しい町をつくりましょう。
- 一、心とからだを鍛え、さわやかな町をつくりましょう。
- 一、伝統ある文化を高め、明るい町をつくりましょう。
- 一、きまわりを守り助け合い、幸せな町をつくりましょう。
- 一、働くことに喜びと誇りを持ち、うるおいのある町をつくりましょう。

(昭和六十年八月一日制定)

年頭にあたって



町長 大橋 忠勝

明けましておめでとうございます。
 新しい年を迎え町民の皆様にはどうぞよき年でありますよう祈念致します。

①「金木川を警察署の向うに新たに堀り川を移して現在の川を埋めて、大駐車場、公衆トイレ、道路公園を造成したい」ことの陳情を繰り返していたところ、去る十二月一日国に於て採択となった旨連絡がありました。木村建設政務次官をはじめ、

田沢、竹内両国会の先生、当町の花田、原田両県議先生、町議会の御尽力に對し衷心より感謝申し上げます。

②賽の川原温泉の隣接（旧牧場）十一・四町歩に総合運動公園建設認可。野球場、ソフトボール、ゲートボール、テニスコート、遊び場、憩の場など造成。

③「樹々と花々、動物いっぱい」の芦野公園「づくり」

- ・「全国桜名所百選」入選祝賀会と記念事業。
- ・公園駅向いの全住宅立退き完了、私有地買取完了跡地の埋め立て、植

樹・芝張り。
 ・金中跡地の緑化。
 ・相撲場裏の薬師溜池半分理め立て、周囲の植樹遊歩道建設。
 ・エンゼル食堂裏から国道に至る遊歩道建設。
 ・公園隣接地をできるだけ広く用地買収しておく。
 ・園内、遊歩道の夜間照明策定。
 ・春夏秋と花の絶えない公園づくり。

④山村振興事業認定―喜良市財産区有地一〇〇町歩に道路を新設し橋を架け、県道（屏風山内真部線）と結ぶ。嘉瀬財産区有地の活用。

⑤小田川ダム―湯の川冷泉―町営牧場線の観光開発。

⑥県道青森―金木道（屏風山内真部線）舗装完工の陳情。

⑦川倉小学校の新築策定。

⑧ばんえい競馬、温泉ホテル、ゴルフ場経営希望会社との妥結。

⑨老人国保施設―医療法人による開設の指導。

⑩病人の少ない町づくり。より一層の検診、予防知識の普及、国保税が高く

ならない努力。

⑪川倉山の奥五・四町歩に「ゴミ処分場」建設認可。汚水処理施設を備え、蝇やカラスを寄せつけない無公害施設とする。

⑫活気ある町づくり―商工会、体協、農協、農業委員会、社協との、より一層の連携と活性化に努める。

⑬過疎化対策―男子雇用型誘致企業（茨城製作所）支援。ヒバの町・観光の町宣伝（地吹雪ツア―、サンタフェステイバル等）

⑭売れる特産物の支援―銘柄米、転作物（大豆・麦など）、ヒバ材、工芸・土産品。

⑮六十三年度（天災）に続き昨年度も県下町村中最多額の災害復旧事業費を受けたが、今後共キメ細かな目配り行政に努めたい。

⑯嘉瀬スキー場ヒュッテ建設策定。集会場の充実（大東ヶ丘他）。

⑰川倉―大東ヶ丘線の舗装。

⑱新神田橋―赤坂への新バイパス建設陳情。

⑲藤枝―赤坂道舗装の策定。

⑳下水道建設の策定。

				<p>少年たちよ、明日の未来へ向かって</p>
<p>吉村 裕子 昭和53年 8月 1日生 今年は私の生まれた年だから勉強やスポーツに励む。作物が豊作であってほしい。</p>	<p>山中 嗣己 昭和53年 6月 28日生 勉強やスポーツを今までいじょうにがんばりたい。</p>	<p>秋元 尉公子 昭和53年 3月 17日生 今年はスポーツをがんばりたい。周りの人よりものろい方なのでそういう所をなおしたい。</p>	<p>原田 智子 昭和53年 2月 13日生 勉強をもっとがんばりたい。背が大きくなりたい。</p>	

一九八九年

金木町

十大ニュース

- 一、芦野公園「桜名所全国百選」入選。
- 二、嘉瀬地区小・中学校チーム少年相撲全国大会で優勝。
- 三、国営小田川農業水利事業完工(式典)。
- 四、新しい神田橋完成。
- 五、「桜づつみモデル」事業認定(小田川)。
- 六、不燃物(ゴミ)処分場建設認可。
- 七、第三期山村振興計画承認(林道喜良市線開設等)。
- 八、総合運動公園整備始まる。
- 九、「嘉瀬スキー場」大規模改修。
- 十、男子雇用型企業「金木セラミック」誘致。



北風の吹く深夜、家路を急ぐ少年たちに会いました。

「いま寒稽古の帰りです」

「そう、剣道? 柔道?」

「いいえ、学習塾です」

なるほど、寒中は受験勉強の追い込みの時期なのです。

大寒は、二十四節気の一つで、新暦では一月二十日ごろです。小寒が一月六日ごろで、この日から大寒を経て節分までの約三十日間が、いわゆる寒中で、一年中で最も寒い時期とされています。

この期間に武術や芸事の練習をすると上達するとされ、寒稽古をする風習があります。

寒 中

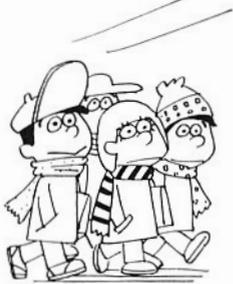
また、修業や祈願のために冷水を浴びる「寒垢離」、裸やはだし、白衣などで神仏に参る「寒参り」もあります。

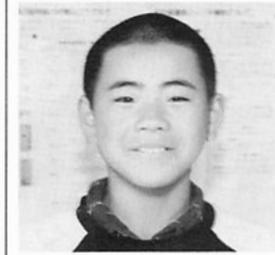
寒は酒の仕込み、そうめん作りなどのシーズンでもあり、また、寒鮎など海の幸のおいしい時期でもあります。

寒中に対して夏は暑中です。夏は、暑中見舞いのはがきを出しますが、冬の寒中見舞いはあまり出しません。

年賀状の直後だからでしょう。でも、年賀状の代わりに、寒中見舞いを出す人もいます。年末の多忙な時に年賀状を書くより、正月休みに心を込めて書きたいし、遅れて着いたほうが目立つということもあるようです。

ところで寒中は、心臓疾患や脳内出血の多い季節。突然の発作や事故のときに、頼りになるのは一一〇番ですね。一月十日は「一一〇番の日」です。いざというとき、あわてずに一一〇番で要領よく連絡する方法、公衆電話から一一〇番にかける方法を、よく知っておきたいものです。



				<p>はばたけ! 天馬のように!</p>
<p>木村 文映 昭和53年 7月21日生</p>	<p>鈴木 章博 昭和53年 5月18日生</p>	<p>山田 勝幸 昭和53年 3月4日生</p>	<p>中谷 輝美 昭和53年 1月8日生</p>	
<p>みんなで力を合わせて勉強やスポーツをがんばりたい。</p>	<p>今までよりも勉強をがんばりたい。特に理科を。</p>	<p>小学校6年間で学んだことを使って中学校でもがんばりたい。</p>	<p>勉強と部活をがんばりたい。もうちょっと背が高くなりたい。</p>	

△今年は午年▽



平成 二年は午年です。馬は、人間と意思のかような家畜として、昔から親しまれてきました。利口な動物というわけです。

でも、最近では馬を見かけることが少なくなりました。八万二千頭——これは、日本で

す。そして今日まで、運搬用、農耕用、乗馬用はもちろん、戦争や狩猟にも馬は登場します。

こうした 馬と人間との密接な間柄を反映して、馬についての諺や漢字が豊富です。「馬がいなくなると、天気が

飼われている馬の一番最近の数です。そのほとんどが乗馬用で、農耕馬、ばん馬（荷を引かせる馬）などは少数派です。ちなみに牛は、肉牛、乳牛を中心に約四百七十万頭が飼育されています。人類が馬を家畜として飼い始めたのは、牛よりも遅く、紀元前四千年ごろと推定されています。

よくなる」とか、「馬がはねると雨になる」という地域があるかと思えば、一方では、「雨になる」のでなく、「晴れる」と、反対の意味を言う地方もあります。馬と人間との関係、その地域の気候条件などの違いによるものでしょう。

馬偏 のつく文字もいろいろあります。駅、駐車場などは現代でも重要な交通用語です。かつて、馬が活躍した時代がしのばれます。「驚」は、馬が前足を上げて、後ろ足で立ち、上向き意味で、驚いたとき、このような姿勢になります。「騒」は馬がたくさん寄り集まることで、それが「騒がしい」の意味になりました。

ところで、初もうでや合格祈願に奉納する絵馬は、もとは神社や寺に馬を奉納する代わりに、馬の絵を書いたのが始まりとされています。

さて、今年、馬力アップして大いに頑張りますか、それとも馬耳東風……マイペースでのんびりいきますか。いずれにしても、ウマく乗り切りたいものです。

脱スパイクタイヤで安全走行。

スパイクタイヤは平成3年3月末日で販売中止となります。

道にやさしく、人にやさしい
スタッドレス・ドライブ。

思いやり運転で高めよう交通マナー。